

期間内の質問及び回答は以下で全てになります。

令和2年4月21日 企画調整課

令和2年度ひたちなか市F1層ニーズ調査業務委託の質問に対する回答について

**質問1** ひたちなか市の強みと弱みについて

**回答1** 本市の強み、弱みについては、令和元年度に実施した別調査において、以下の代表的な要素が挙げられています。

強み	<ul style="list-style-type: none"><li>・「住むこと」や「全般的によいまちであること」に対する市民のNPSが高い。</li><li>・適度に田舎で適度に都会なところが魅力との意見がある。</li><li>・子育て世代からは自然、産業、観光、住みよさのバランスがとれたまちとの評価がある。</li><li>・30歳付近の男性で人口の流入が多く発生している。</li><li>・合計特殊出生率は全国や県に比べ、高い水準にある。</li></ul>
弱み	<ul style="list-style-type: none"><li>・「働くこと」や「子育て」に関する市民のNPSが低い。</li><li>・本市で暮らす魅力等についての情報発信が不足している。</li><li>・女性の就業に関する選択肢が少ない。</li><li>・20代での市外への流出が大きい。特に女性の人口流出が大きく、人口の割合が低い。また、0～4歳児を持つ子育て層の流出も目立つ。</li></ul>

今回の調査業務委託では、これらを踏まえて、さらにF1層のセグメント等を行った上で、本市の強みや弱みについての仮説の設定・検証を行いながら具体的な施策へ反映させることを想定しています。

**質問2** U I Jターンを促す要因と転出しない理由について

**回答2** Uターン、Iターン、Jターン、それぞれによって本市へ定住する理由は異なるものと考えていますが、U I Jターンを促す具体的な仮説の設定には至っておりません。この点については、受託事業者のノウハウを踏まえながら、仮説の設定を行いたいと考えています。

また、転出しない理由については、先述した調査から、「住むこと」全般のNPSが高いことなどから、一定の定住要素はあるものと考えています。しかしながら、積極的な定住要素が少ないことが、本市の課題だとも考えています。

**質問3** F1層が「ひたちなか市」に果たす役割と期待していることについて

**回答3** 本市では近隣市と比較してF1層の人口減少率が大きく、また女性人口比率も低くなっています。F1層の増加により、まちの活性化、まちの多様性の醸成、出生数の上昇等を期待します。

**質問4** ホームページのリニューアルについて

**回答4** ホームページによる情報発信については、これからの検討事項と考えています。ホームページのリニューアルも含め、ターゲットへ効果的に届けるための本市のプロモーション全般についても、ご提案をいただけますようお願いいたします。